

# 京都府立京都学・歴彩館 海外若手研究員による 府民向けセミナー（開催報告）

2020年9月3日  
京都府立京都学・歴彩館  
075-723-4835

京都府立京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、2017年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。

このたび、2020年度の京都学研究員による府民向けセミナーを下記のとおり開催しましたので報告します。

## 記

- 日 時 第1回 2020年8月27日（木） 13時半～14時半  
第2回 2020年9月3日（木） 13時半～14時半
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 パベル・スミルノフ(Pavel Smirnov) / ロシア
- 参加者 第1回：50名、第2回：50名 計100名
- 発表内容

共通テーマ『人事制度からみる奈良・平安時代』

第1回「日本律令制における勤務評定と昇進—唐・高麗の実態との比較を中心に—」

第2回「平安時代における官位・官職の昇進事由について」

## ■ セミナーの様子

講師の発表のあと、質疑応答が行われ、研究者と参加者の交流を図りつつ、京都学の研究内容についての理解を深めた。なお、感染症予防のため、ホール座席数の半分までの定員を設定したが、各回とも定員に達する参加者があり、好評を博した。

## ■ 参加者コメント（抜粋）

第1回 2020年8月27日（木）

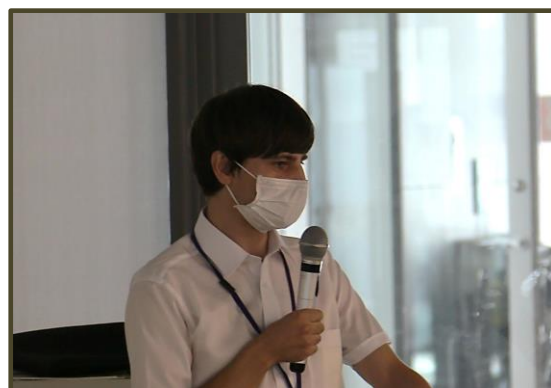
- ・「現在の社会にも通じる人事制度が古い時代からあったことに驚いた。」
- ・「唐、日、高麗を比較しての勤務評定の内容で、それらを概観できました。」
- ・「難しかったのですが、奈良・平安時代の役人も大変だったことがわかりました。」
- ・「専門用語が難しかったが、話の内容は興味を持って聞くことができた。」
- ・「レジュメが分かりやすく、理解の助けになりました。」
- ・「海外の方とは思えない言語に感心した。」「日本語も、聞き易くてよかったです。」

第2回 2020年9月3日（木）

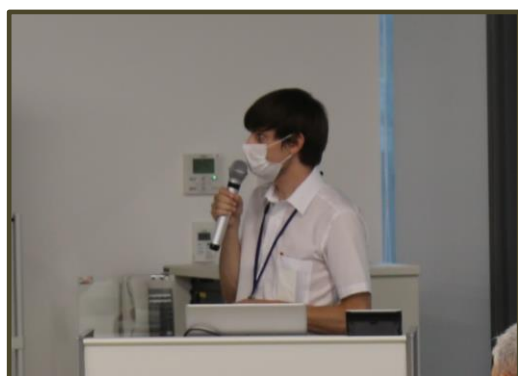
- ・「日本人にとっても難しい内容を研究されていることに大変驚きました。」
- ・「日本人でも知らない官位官職について、これほど迄、研究されたことに驚きました。」
- ・「学校の歴史では学べない官位の世襲申請等、人間性が感じられて、歴史にまた興味を持てるようになりました。」
- ・「具体的な事例を出して丁寧に説明されており、かつ興味深い内容でした。」
- ・「時間が限られていたのは残念でしたが、読み下し文で分かりやすく資料を解説してい

- ただき、興味深くお話をうかがうことができました。ありがとうございました。」
- 「難しかったのですが、父親が子ども（息子）を思う、気に掛ける思いは今も昔も変わらないのだと思いました。」

### 府民向けセミナーの様子



第1回 2020年8月27日（木）



第2回 2020年9月3日（木）